

「あなたは誰？ どこにいる？」

使徒 2：1～4、17～21

■ 外側だけを見て物事を判断していないか

一つのアニメ動画が紹介されました。おばあちゃんが駅の自動販売機でクッキーを買いました。ホームのベンチに座りクッキーを食べていると、隣に座っていた青年もそのクッキーを食べ始めます。不誠実に見えるその青年に向かって、おばあちゃんは怒ります。しかし、青年は怒り返すことはせず、最後のクッキーを半分に分け、おばあちゃんに渡します。それでも、怒りが収まらないおばあちゃんは、もらった半分のクッキーを握りつぶしてしまいます。怒ったまま電車に乗り込み、ふと自分のバッグを開けると、そこには自動販売機で買ったクッキーが入っていました。おばあちゃんがホームで食べていたクッキーは、実は青年のものだったのです。おばあちゃんはチャラチャラした格好の青年が、自分のクッキーを勝手に食べていると勘違いをし、怒っていたのです。しかし、それに気が付いた時、既に電車は出発し始めていました。おばあちゃんは青年に謝ることもできませんでした。私たちにもこのようなことがないでしょうか？ 自分はどうなのかをしっかりと確認もせず、他人の容姿や目に入ってくる情報だけで相手を決めつけ、裁いていることはないでしょうか？

■ あなたの立ち位置はどこですか？

GPS は私たちがいる位置をいくつかの人工衛星を使って測位します。しかし、宇宙にある人工衛星と地上では 1 秒あたり 100 億分の 4.45 秒ずれているため、そのズレをそのままにしておくと、地上では大きなずれが生じてしまいます。そこで、別の人工衛星によってそれらを補正することで、私たちのもとに正確な位置情報が届きます。このように、私たちの位置を物理的に判断するだけでも複雑なシステムが必要です。では、私たちは自分がどこにいるかをわかっているのでしょうか？ 先週のメッセージで私たちが裁判官、検事、無資格の弁護士、告発者になってはならないと語られました。証者である私たちが自分の立ち位置を見誤り、本来の役割を見失うと大きくずれてしまいます。イエス様と一緒にいた弟子たちも自分の立ち位置がわからず、彼らを立たせていたのはプライドでした。弟子のなかで一番愛されているのは誰か、一番優秀なのは誰か…といった議論し、同じことを繰り返していました。しかし、ペテロは自分の罪を悔い改め、自らの生き方を変えることを願いました。そして、五旬節の日にひとところに集まり祈っていたところ、そこに聖霊がくだりました。ペテロは漁師であり、特別な能力や地位を持っていませんでしたが、聖霊に満たされたペテロは、兵隊や群衆の前に出ていき、福音を宣べ伝えるものに変えられました。ペテロは聖霊によって GPS が測位し、あるべき姿に戻ったのです。

『まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたは若かったときには、自分の歩きたい所を歩きました。しかし年をとると、あなたは自分の手を伸ばし、ほかの人があなたに帯をさせて、あなたの行きたくない所に連れて行きます。』(ヨハ 21:18)

私たちは自分の欲に従って歩んでいると本来、神様が用意して下さった道を歩めなくなります。その結果、この御言葉のように行きたくない所に足を向けてしまうのです。それは本来の行くべき所ではないので、幸せの道ではありません。私たちが歩むべき道をやめて、自らが選ぶ道を歩むので、イエス様は私たちに変わって釘を打たれ、自由を奪われ、十字架に架かれたのです。私たち自身の立場をもう一度確認しましょう。私たちは「イエス・キリストの証人」です。理解できないことが起こったとき、私たちはプロセスに目がいきますが、その出来事に対して私たちがどこに立ち、どんな実を結び、それによってどんな影響を周りに与えたかということが大切です。私たちがどのように生きるかで、イエス・キリストの生き方が人々に表されていき

ます。

『私は裸で母の胎から出て来た。また、裸で私はかしこに帰ろう。』(ヨブ 1：21)

冒頭の動画に出てきたおばあちゃんは、自分が買ったクッキーが「取られている」と錯覚していました。自分の基準で青年を判断し、自分が間違えていることに気づけなくなっていたのです。私たちは持っているものを「自分のもの」と勘違いしてしまいます。私たちは何も持たずに生まれてきましたが、いつしか持っているものを失うことが恐ろしくなり、それに依存し、執着しているのなら気をつけなければなりません。私たちはそれらを持っていなくても、そのまま愛されていて、わたしが「わたし」であることは変わらないからです。ですから、暗闇に對して戦いを始めるのが私たちの決断です。戦う相手は自分自身ではなく、暗闇の主導者です。そして、戦うのは神様であり、戦う方法は御霊によって満たされることなのです。

■ DNA のスイッチを ON に

カリフォルニア大学のジョン・ロビンソン教授がイタリアミツバチとアフリカミツバチの DNA について研究しました。この 2 種のミツバチの DNA 配列はよく似ていましたが、イタリアミツバチは穏やかであり、アフリカミツバチは攻撃的でした。それぞれの個体を相手の群れのなかに入れると、アフリカミツバチの環境で育ったイタリアミツバチは攻撃的に、イタリアミツバチの環境で育ったアフリカミツバチは穏やかになったのです。DNA に変化は起こっていませんでしたが、DNA のなかに ON / OFF になっているものがあることが分かりました。ミツバチの個体は突然変異によって変わったのではなく、もともとそのように造られていたものが ON になったのです。その後、教授はポジティブな人たちとネガティブな人たちを 10 年間研究し、ネガティブな人たちには多くの炎症反応が見られ、抗体反応も多く、外から入ってくるものに対して戦う DNA のスイッチが OFF になっていることがわかりました。反対に、ポジティブな人たちは炎症反応が極めて低く、戦う DNA のスイッチが ON になっていることがわかったのです。

私たちにとって大切なのは友だちです。私たちに友だちがいると、免疫反応が高まります。神様を信じ、存在意義を見つけて自らが進もうとする道に生きようとするとき、同じ生き方をしている人の中に友が与えられます。友は私たちが探して見つかるものではありません。私たちが自らの生き方を選んだ時に初めて与えられます。私たちの最大の友はイエス・キリストです。私のところに友としてきてくださったイエス様の友として生きるとき、私たちの DNA は ON になります。

まとめ

聖書にでてくる信仰者たちは自らが取るべき行動を判断し測位しました。自分の立場をもう一度見直し、どんな決断をし、どう生きていくか。測位する必要があります。目を閉じて感じましょう。神様にとって、私たちは一人ひとり特別な存在です。だからこそ、神様は私たちに測位し、失われた価値を取り戻させたいのです。今、自分の立場を見失っているのなら、強く待ち聞きましょう。あなたの本来の役割や姿を必ず聞くことができます。神様はいつもあなたと共におられます。必ず神様のところに戻る事ができます。それを信じて神様の前に出ていきましょう。神様いつもどんなときもあなたを待っておられます。

(要約者：岡本享子)

(2020年5月24日)